魚津市新庁舎整備検討委員会 第10回会議 会議録（要旨）

【開催状況】

- 1 開催日時 令和6年11月25日（月）10:00～11:20
- 2 開催場所 魚津市役所4階 第1委員会室
- 3 出席者
 - (1) 委員
石川委員、伊藤委員、浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員（会長）、西村委員、野澤委員、平田委員、山本委員
 - (2) 市
副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員
 - (3) コンサルタント
株式会社 建設技術研究所
 - (4) コンストラクション・マネジメント
明豊ファシリティワークス株式会社
- 4 欠席者
吉森委員

【関連資料】

- 資料1 令和6年度の検討スケジュール
- 資料2 新庁舎整備の概算事業費・財源
- 資料3 新庁舎整備の事業手法
- 資料4 全体事業スケジュール

【会議内容】

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 概算事業費・財源について
 - (2) 事業手法について
 - (3) 全体事業スケジュールについて
- 3 その他
- 4 次回の会議日程について
- 5 閉会

【事務局】

資料1及び資料2について説明。

委員長

資料1と資料2について事務局から説明していただきました。ここまででご質問やご意見はありませんか。

A委員

資料2について確認ですが、1ページの勉強スペースとは自習室のことでしょうか。また、2ページの子ども・子育て支援事業債の対象に自習室は含まれますか。
財源にふるさと納税を活用することは想定していますか。

事務局

勉強スペースとは自習室のことで、子ども・子育て支援事業債の対象にはなりません。

ふるさと納税についてですが、魚津市は一気に増えている状況でございまして、多くの方から寄附をいただいています。新庁舎整備に併せてクラウドファンディングをやっている自治体も一部あるようです。今後、新庁舎整備に関して寄附を募ることはあり得ることだとは思いますが、今回の資料ではある程度確実性のあるものを財源としています。

A委員

概算事業費を74.1億円と想定していますが、今後の物価高騰についてはどのようにお考えでしょうか。

事務局

今回お示した概算事業費の74.1億円は、工事を発注する令和9年度時点の単価を想定して算出したものです。現在の単価からどの程度変動するか想定することは難しいのですが、上昇するリスクも考慮し、可能な範囲で基金を積み立てる必要があると考えております。

B委員

事業費についてですが、小矢部市と砺波市でも庁舎建設の検討が進められており、建設関係者の認識では、物価が高騰しており時期によっては不調とならなくともかなり予算枠は厳しいものになると考えられています。当然理解された上での試算だと思っておりますが、この点を十分考慮いただきたいと思います。

ZEBの関係についてですが、将来維持するためにかかるコストも視野に入れておられると思いますが、税収が下がっていく中であって将来財源的に厳しくならないように試算していただきたいと思います。

建設費の確保ということで、国へは積極的に要望しなければいけないと思います。市庁舎

を整備する砺波市や小矢部市とも連携して積極的な要望をお願いします。

事務局

県内各市町村の新庁舎整備の計画が進んでいることは認識しています。小矢部市については能登半島地震に関連して進めているのでスピード感は早く、砺波市については本市とほぼ同じスケジュールと聞いています。県内で同様のビッグプロジェクトがあるという状況をしっかりと把握しながら進めていきたいと思います。

ZEBの将来費用について、市債を借り入れることにより借金になることは認識しております。緊急防災・減災事業債は交付税措置もあり、そういった有利な事業を活用することにより市負担をできるだけ小さくしたいと考えています。

制度の要望については、今年度の要望にも入れておりますし、今後も引き続き国、県に対して要望していきます。県内市町村とも連携しながら進めたいと思います。

C委員

敷地の購入費1億円について、購入の必然性について確認したく、面積と坪単価を教えてください。また、現在の借地料はいくらなのでしょう。借りた方が良いような気がします。敷地購入に対して国からの補助があるのなら買った方が良いと思います。

事務局

借地料は具体的にお示しはできませんが、仮に50年借りると考えた場合、借りるよりも購入したほうがトータルでの価格は低くなります。また、購入にあたっての補助金はおそらく無いと思われます。

A委員

現在の庁舎の下に借地になっている部分があります。公共的な市の庁舎の下になるものなのできちんと購入した方が良いと思います。

委員長

北陸職業能力開発大学の敷地は、魚津市の土地です。こちらの場合は借りた方が安いと考えました。

A委員

学校は撤退することもあります。庁舎はそうはなりませんので購入したほうが良いと思います。

委員長

次に、議題（2）事業手法についてと議題（3）全体事業スケジュールについて、事務局

より説明をお願いします。

【事務局】

資料3及び資料4について説明。

委員長

資料3と資料4について事務局から説明していただきました。ご質問やご意見はありませんか。

D委員

事業手法に関連してですが、ありそドームに建設中のプールはどのような手法なのでしょう。

事務局

本体工事、電気工事、設備工事を分離して発注しています。

新庁舎の整備については、今後の検討にはなりますが、本体工事、電気工事、設備工事を一括で発注することを想定しています。

D委員

財源についてですが、約50億円を地方債とするとのことで償還期間は25年程度と認識していますが、償還期間の計画はどのくらいでしょうか。

事務局

何に使うかまた借り入れ先により異なりますが、建物整備については30～40年程度となります。

D委員

着工以降の償還の原資は、基金を充当して償還するという理解でよろしいでしょうか。

事務局

令和8年度末までは新庁舎等の整備費用として公共施設整備基金に積み立て、建設がスタートした令和9年度以降は借入金の償還財源として決算剰余金を活用して、できるだけ減債基金に積み立てることを市の中期財政計画で定めています。

E委員

償還はいつごろから始まる予定ですか。供用開始と同時なのですか、それとも返済の据え置きはあるのですか。

事務局

支払いは完成してから一括払いという訳ではなく、前払金の支払いや中間完了時の支払いがあり、その支払額に応じて借入をします。償還の時期については、新庁舎に限りませんが据え置き期間は利息のみの支払いとなり、それ以降が元金の支払いとなります。なお、据え置き期間を長く設定するとその分利息が増えるため、据え置き期間を短縮する等の検討が必要と考えています。

C委員

設計施工分離発注方式で良いと思います。一方で、過去の事例から予定価格を設定する際に過小設計される可能性もありますので慎重に対応いただきたいと思います。

現在の駐車場に新庁舎を建てるということですが、建設工事中の市民の駐車場はどのように確保されるのですか。

事務局

1点目についてですが、庁舎整備に関して経験のある職員がいないため、コンストラクション・マネジメント方式を導入し、設計内容を一緒にチェックしてもらうことを想定しています。

2点目についてですが、現在の駐車場は工事スペースとなるため、現在の市職員駐車を市民用の駐車場とすることなどにより必要なスペースを確保したいと思います。

C委員

特別な工法や普及していない資機材を使わないよう、よくチェックされた方がいいと思います。

B委員

事業手法の比較表について、コンストラクション・マネジメントの明豊ファシリティワークス株式会社様のご意見をお聞かせください。

事務局（明豊ファシリティワークス株式会社）

市の説明のとおりだと考えます。デザインビルド方式の場合、設計期間から施工業者を確保し、物価上昇を協議する必要があることからゼネコンも参加が難しく、仕様が決まった従来方式の方が安心して参加できる旨を事業者から聞いています。

B委員

新庁舎整備という大きな事業が将来の歳入歳出にどのような影響を及ぼすのかと心配しています。民間であれば財務諸表や事業計画がありますが、本事業の市の将来の歳入歳出に

係る計画はありますか。

事務局

新庁舎整備に特化した収支計画はないのが現状です。庁舎は売上のある施設ではないため、毎年市全体の収支の中で償還財源をどうするか検討していくことになると考えていますが、償還が本格化するとその額は大きくなりますので、令和9年度以降減債基金を積み立てていきたいと考えています。

B委員

これだけの事業をやっていくためには、事業計画は整理するべきだと思います。今後市民の負担がどうなるのか心配もあるため、是非作成していただきたいと思います。

F委員

コンパクトな庁舎になるとのことで安心しましたが、事業費は75億円ということで、プール整備や駅前の工事もあり財源が心配です。将来、人口が減って税収も下がると思いますので財源確保のためには支出を縮小していくことが肝になってくると思います。事業の取捨選択をして、予算を小さくしてほしいと思います。

事務局

将来、人口減少により市の財政は苦しくなると考えています。市の中期財政計画では、今後も財源不足が発生する見込みになっていますので、新しい事業をする場合には、既存の事業を見直したり、時代の変化に合わせた別の事業に変えるなどしっかりと運営していきたいと財政課として考えています。

D委員

新しいプールの総工費は17億円と聞いていますし、今後水族館も整備するとなれば、巨額の事業費となります。小学校再編の際に2校分で財政健全化計画に取り組みざるを得なくなったと思いますが、再び同じような状況にならないよう慎重に検討してほしいと思います。

副市長

市としてやらなければいけないことはいくつもあるなかで、収入、財政も含めてどうするか、市債は毎年どれだけ償還しなければいけないのか、決算が黒字のうちには積み立てて、毎年の運営の中でどうしても追いつかなければその積み立てた基金を使っていくとか、財政運営は短期もあるし中期的な話もあり、市の運営としては常に気を付けているところです。皆様のご協力をお願いいたします。

委員長

市債の償還計画を市民に示すこと、財政計画について市民に分かりやすく説明するよう
にというご意見がありました。設計施工分離発注方式については、概ね賛成でした。工事期
間中の駐車場については、市民の利便性を下げないようお願いします。

本日の議題については、概ね原案を支持するとして終了いたします。

副市長

庁舎を建てることだけではなく、市政運営をしっかりとやるようにという要望だったと思
います。しっかりと取り組みますのでよろしくお願いします。

今回の検討委員会にて検討事項の方向性はまとめていただきました。次回から基本計画
を取りまとめていきます。今後とも引き続きよろしくお願いします。

以上